

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE 評価（新編）2016年版（使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-6D_NC_2016(v3.0)）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	スーパーマルハチ柳原店 新築工事	階数	地上2階
建設地	兵庫県神戸市兵庫区西仲町2番16	構造	S造
用途地域	市街化区域、防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年11月19日
敷地面積	5,072 m ²	作成者	塩見絵里子
建築面積	3,270 m ²	確認日	2021年11月22日
延床面積	3,302 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 CASBEE神戸 の重要項目		
バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 Q-2/2.4 信頼性 	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮
配慮の概要	配慮の概要	配慮の概要
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
スーパーマルハチ柳原店 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.40				3.1
1 音環境				2.6	0.15				2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0			
1.2 遮音				3.0	0.40				
1 開口部遮音性能				3.0	1.00				
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音				1.0	0.20				
2 温熱環境				2.6	0.35				2.6
2.1 室温制御				3.5	0.50				
1 室温		夏季26℃、冬季22℃		4.0	0.50				
2 外皮性能				3.0	0.17				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33				
2.2 湿度制御				3.0	0.20				
2.3 空調方式				1.0	0.30				
3 光・視環境				3.5	0.25				3.5
3.1 昼光利用				4.0	0.50				
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		ハイサイドライトと同等の大型建具の設置により太陽光を利用した採		4.0	1.00				
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御				3.0	0.50	3.0			
4 空気質環境				3.9	0.25				3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質		内装材は全般的にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00				
4.2 換気				3.0	0.30				
1 換気量				3.0	0.50				
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50				
4.3 運用管理				5.0	0.20				
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御		敷地内全面禁煙		5.0	1.00				
Q2 サービス性能					0.30				3.2
1 機能性				3.1	0.40				3.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40				
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画				3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30				
1 広さ感・景観		売場天井高3.6m以上		5.0	0.33				
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33				
3 内装計画				1.0	0.33				
1.3 維持管理				3.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を採用等		4.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30				3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種の2種以上にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.0	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.6	0.30				3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30				
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60				
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1	空調配管の更新性		3.0	0.20				
2	給排水管の更新性		3.0	0.20				
3	電気配線の更新性		3.0	0.10				
4	通信配線の更新性		3.0	0.10				
5	設備機器の更新性		3.0	0.20				
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30				2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30				2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50				
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性								3.1
LR1 エネルギー			-	0.40				2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=1.05	-	-				-
2 自然エネルギー利用		ハイサイドライトと同等の大型建具の設置により採光利用	4.0	0.13				4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.92	2.4	0.63				2.4
4 効率的運用			3.0	0.25				3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00				
4.1	モニタリング		3.0	0.50				
4.2	運用管理体制		3.0	0.50				
集合住宅の評価			-	-				-
4.1	モニタリング		-	-				-
4.2	運用管理体制		-	-				-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.5
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1	節水	省水型便器、自動水栓、節水コマが過半を満たす	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70				
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60				3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11				
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22				
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22				
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	・風除室/ビニル床シート・各作業室/磁器質タイル・エントランス/300角タイル	5.0	0.22				
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-				
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	解体時に容易に分別可能な工法	4.0	0.22				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20				3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない防水工事のプライマー	4.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1	消火剤		-	-				
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50				
3	冷媒		3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=94%	3.2	0.33				3.2
2 地域環境への配慮			3.1	0.33				3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25				
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25				
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25				
3	交通負荷抑制	駐輪駐車場、荷捌き用車両の駐車スペース、複数出入口を確保	5.0	0.25				
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1	騒音		3.0	1.00				
2	振動		-	-				
3	悪臭		-	-				
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40				
1	風害の抑制		3.0	0.70				
2	砂塵の抑制		1.0	-				
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			4.4	0.20				
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの一部を満たし、広告物照明の配慮事項の全項目に該	5.0	0.70				
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30				